第23回 農学部フォーラム／
第 9 回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム

農山村地域の未来を考える

―今すべきことは何か―

日時 2018年9月15日(土)
13:00～15:50(12:30開場)

会場　新潟大学　農学部　大講義室(C-110室)
対象　一般市民・高校生・大学生

［ 司会進行 ］　中野 和弘　新潟大学農学部　教授

［ 開会の挨拶 ］　髙橋 姿　新潟大学　学長
品田 宏夫　刈羽村　村長

［ 基調講演 ］
13:15~14:05　「人口減少と気候変動に地域はどう立ち向かうか？
― グリーンインフラ ―」
中村 太士　北海道大学大学院農学研究院　教授

［ 講 演 1 ］
14:05~14:30　「認証制度を活用した順応的な
トキの生息地管理は実現できるか？」
関島 恒夫　新潟大学農学部　教授

休　憩（10分）

［ 講 演 2 ］
14:40~15:05　「人と野生動物が共存する里地里山の継承
― 獣害対策で地域を元気にする ―」
望月 翔太　新潟大学農学部　助教

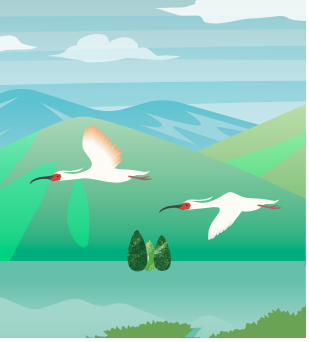
［ 講 演 3 ］
15:05~15:30　「中山間地域における地域コミュニティの振興
― 長岡市山古志地区を事例として ―」
坂田 寧代　新潟大学農学部　准教授

［ まとめ ］　関島 恒夫

［ 閉会の挨拶 ］　末吉 邦　新潟大学　農学部長

主催：新潟大学農学部
新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センター
URL　http://www.agr.niigata-u.ac.jp/~nkariwa/index.html
後援：新潟県、農学部同窓会
お問い合わせ：新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センター担当
TEL：0257-31-8871（高橋）

新潟大學　KAAB



新潟大學　KAAB

第23回 農学部フォーラム／
第 9 回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム

【 趣旨 】 わが国はこれから急激な人口減少時代に突入する。すでに、地方都市では首都圏に先行してその兆候が現れており、その影響は生活の随所で顕在化しつつある。迫りくる人口減少、それに伴う税収の減少は、われわれの社会生活および環境にどのような影響をおよぼすのか?

本フォーラムでは、現在の社会基盤を将来にわたりどのように維持管理していくかという視点で、グレイインフラからグリーンインフラへの転換を模索する最先端の取り組みとともに、地域コミュニティの活性化、生物多様性保全、鳥獣害対策について現状と将来の展望を紹介する。

【 会場案内 】新潟大学 農学部 大講義室（C110室）

※出来るだけ公共交通機関をご利用ください
〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050
アクセス　https://www.agr.niigata-u.ac.jp/access-map
キャンパスご案内　https://www.niigata-u.ac.jp/university/map/ikarashi/

申込締切 9月7日（金）

参加をご希望の方は資料準備の都合上、9月7日までにE-mailまたはFAXでお申し込みください。なお、当日参加も可能です。

E-mail　件名を「フォーラム」とし、下記必要事項を明記のうえ、
cocoa07@agr.niigata-u.ac.jp に送信してください。（髙橋）

FAX　下記に必要事項をご記入のうえ、このまま
0257-31-8872 へ送信してください。

第23回 農学部フォーラム／第9回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム　参加申込書

ふりがな				
氏　名				
勤務先※			所属・役職※	
連絡先	住　所			
	TEL		FAX	
	E-mail			

※勤務先と所属・役職については該当がない場合、無記入でもかまいません。
※参加申込書にご記入いただきました個人情報は本フォーラムに関するご連絡のみ利用させていただきます。

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。